

BEE700

国産 12V 車専用


HORNET
Bee Sensor

この度はBEE700をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品は車内に装着し、衝撃やドアの開放を検知すると威嚇LEDおよびサイレン音による警告・警報を発し、車上あらしや車両盗難等を抑制する簡易型防犯警報装置です。
 本書には取り付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。また読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品は車体への衝撃やドアの開放を検知し警報を行う装置です。車上あらしや車両盗難等への防犯効果は多大ですが、完全に防止できるものではありません。
 また本製品の作動の有無にかかわらず車両盗難、車上ねらい、車両へのイタズラ等が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 ヒント	本製品に関する補足情報を説明しています。

目 次

ご使用上の注意	2	検知・警報動作とリモコン表示	19
梱包内容	4	応用操作	21
メインユニット	4	警戒パターンの設定を切替える	21
リモコンユニット	4	自動で警戒モードに設定する (パンプ機能)	22
付属品	5	衝撃センサーの感度を変更する	23
オプションについて	5	ダイアグノスティック機能	24
ご使用の前に	6	内蔵バッテリーの状態をチェックする	25
リモコンの電池を交換する	6	リモコン電池の低下通知機能	26
通信範囲	7	緊急時の警報音停止方法	26
メインユニットに専用バッテリーを取り付ける	8	メインユニット充電中のLED点灯表示を 変更する	27
メインユニットを充電する	9	威嚇LEDの点滅パターンを変更する	28
取り付け	11	サイレン音の音色を変更する	29
取り付け概要図(参考例)	11	付録	30
メインユニットを取り付ける	12	こんなときは?	30
セラミックスピーカー (別売オプション:517S)を取り付ける	13	故障かな?と思ったら	31
基本操作	14	お買い上げ時の設定一覧	32
リモコンの電源を入れる	14	アフターサービスについて	33
リモコンの電源を切る	14	製品仕様	34
リモコンの通信エリアを確認する	15	保証規定	36
警戒モードを設定する	16		
警戒モードを解除する	17		
異常通知/警報動作を停止する	18		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

事故・火災等の危険性があるため、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- 本製品を分解、改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取り付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用に十分注意してください。

- メインユニット本体・リモコン本体・シガープラグコードに、お買い上げの日から1年間の保証がついています。その他の付属品（⇒P5）は保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。
※シガープラグコードを改造した場合は、保証対象外になります。
- 保証書には、必ず「販売店名」「購入年月日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 他のセキュリティシステムとの併用は行わないでください。誤警報の原因となります。
- 本製品はオープンカー等、密閉性の低い車両では使用できません。
- メインユニットやリモコンに電池（バッテリー）を入れる時、ネジにあったプラスドライバーが必要になります。
- 本製品は国産12V車のみ使用可能です。輸入車や24V車には使用できませんのでご注意ください。
- 本製品を充電中に警戒モードに設定することはできません。

⚠ 注意

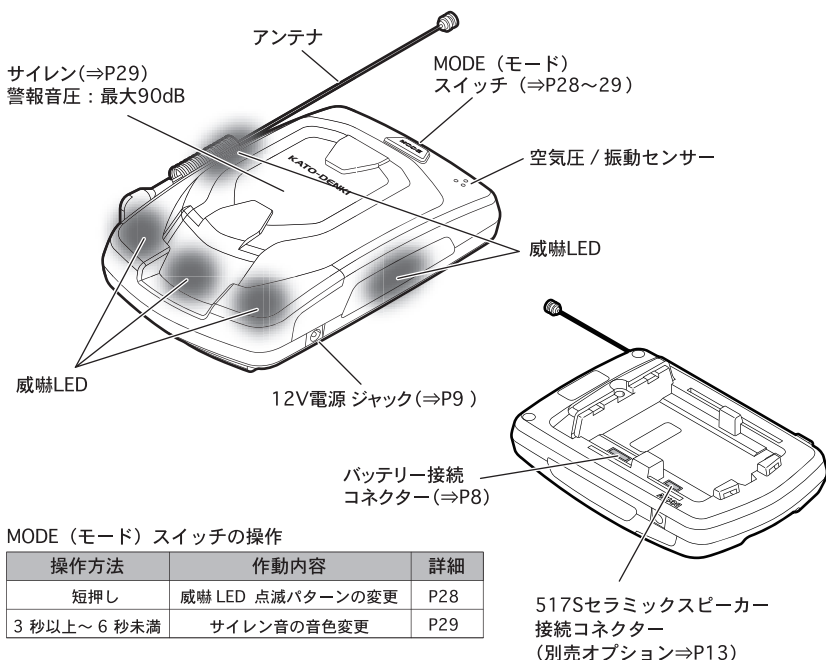
- キーを OFF にした時、車両シガーソケットの電源が 0V にならない車は、車両バッテリーを保護する為、エンジンを始動していない時は必ずシガープラグコードを抜いて使用してください。
- 強い雨や雪、ヒョウなどを検知して警報を発する場合があります。また地下駐車場や空調ファンの振動や音が発生している場所、またはその他の振動・騒音が発生している場所、車やバイクの改造マフラー音等を検知して警報を発する場合があります。
- 指定の電池およびバッテリー以外は使用しないでください。
- テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- メインユニットやリモコンを直射日光が当たる場所に設置・放置しないでください。
- 本製品の取り付けは確実に固定してください。固定が不十分ですと誤作動の原因となります。
- 本取扱説明書内のイラストは、製品と一部異なる場合があります。
- 本製品を修理・点検依頼された場合、修理期間中の別商品の貸出し（代替品）などのサービスは行っておりません。
- 本製品を修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車両盗難、車上狙い、車両へのイタズラ等が発生しても、当社では一切の責任は負いかねます。
- 本製品は防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が浸入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
※急激な温度変化による結露や汗をかいた手で触ったり、ポケットなどに入れた状態で雨や汗による蒸れ等によって内部に水分が浸透する恐れがありますのでご注意ください。
- 工場出荷時、本製品メインユニットのバッテリーはテスト用の充電しかされておられません。商品の状態（自然放電等）によっては電池容量不足で作動しない場合がありますので、初めて使用する時は必ずメインユニットのバッテリーを充電してください。
- 部品の交換修理、パーツの購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。

⚠ 電波法について

- メインユニット裏バッテリーケース内の技術基準適合証明ラベルは剥がさないでください。このラベルを剥がすと技術基準適合機として認められなくなるので、必ずラベルが貼られた状態で使用してください。
- 分解したり改造することは電波法で禁止されています。改造して使用すると電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。

梱包内容

メインユニット

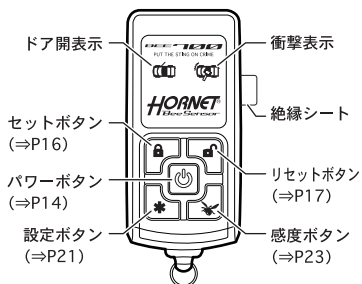


MODE (モード) スイッチの操作

操作方法	作動内容	詳細
短押し	威嚇 LED 点滅パターンの変更	P28
3 秒以上～6 秒未満	サイレン音の音色変更	P29

リモコンユニット

リモコンの基本操作

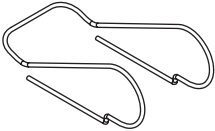


※初めて使用する時は必ず絶縁シートを抜き、電源を ON にしてから使用してください。(⇒P14)

操作方法	作動内容	詳細
リモコンの電源 OFF 時に ☺ ボタンを 2 秒間押す	リモコンの電源 ON	P14
リモコンの電源 ON 時に ☺ ボタンを 2 秒間押す	リモコンの電源 OFF	P14
🔒 ボタンを 1 秒間押す	警戒モードの設定	P16
🔓 ボタンを 1 秒間押す	警戒モードの解除	P17
✳️ ボタンを 5 秒間押す	警戒パターンの設定変更	P21
🦋 ボタンを 5 秒間押す	衝撃センサーの感度変更	P23
✳️ ボタンと 🦋 ボタンを同時に 5 秒間押す	リモコンの通信エリアを確認する	P15
🔒 ボタンと ✳️ ボタンを同時に 5 秒間押す	メインユニット内蔵バッテリーの状態をチェックする	P25
🔒 ボタンと 🦋 ボタンを同時に 5 秒間押す	メインユニット充電中の LED 点灯パターンを変更する	P27

付属品

サンバイザーステー (1 個)

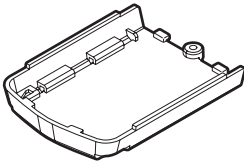


※出荷時メインユニット電池カバーにセットされています。

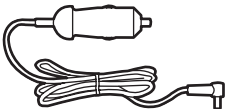
メインユニット
専用バッテリー(1 個)



メインユニット電池カバー (1 個)



シガープラグコード (1 個)
(約 3m/1A ヒューズ内蔵)



メインユニット電池カバー
固定用ネジ2×6 (1個)



リモコン用ボタン電池 (2 個)
(CR2032)



※出荷時リモコンにセットされています。

オプションについて

本機は以下のオプションを取り付け可能です。

品番	品名	使用目的
517S	セラミックスピーカー	ガラスやボディに取り付けることで、スピーカーが取り付け面を共振させ、車外へ警報音を響かせます。

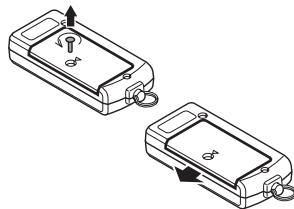
ご使用の前に

リモコンの電池を交換する

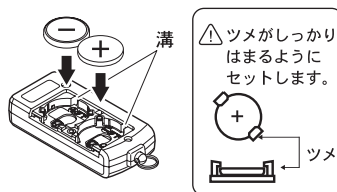
製品購入時には、リモコンの電池は装着されています。必ず絶縁シートを抜いてから使用してください。

電池を交換する場合は以下の手順に従って電池を装着してください。

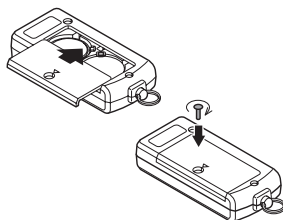
- 1) 電池カバーのネジを外して、電池カバーを矢印の方向へスライドさせ取外します。



- 2) 右図の溝に細い棒等を入れ古い電池を取外し、新しい電池(CR2032×2個)をリモコン上部は-を上、キーリング側は+を上にしてセットします。



- 3) 電池カバーを矢印の方向からスライドさせ取り付け、ネジ(2×6)を締めます。



△ 注意

- ・ 指定電池 (CR2032) 以外は使用しないでください。
- ・ 新品の電池を使用した場合、1日8回のセキュリティセット/リセット操作のみで約4ヶ月の使用が可能です。(リモコンへのアンサーバックや使用条件により電池寿命は異なります)
- ・ リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り外して保管してください。
- ・ セキュリティセット/リセットに関わらず、リモコンの電源がONになっている状態ではリモコンの電池電圧は低下していきます。
- ・ 工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約4ヶ月間を下回る場合があります。
- ・ 電池は消耗品です。約4カ月程度で交換することをお勧めします。

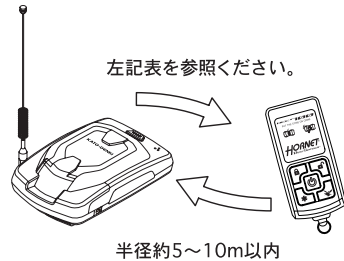
通信範囲

リモコンからメインユニットへの無線通信には、微弱電波を使用しているため通信範囲は半径約5～10m以内です。

メインユニットからリモコンへの無線通信には、特定小電力無線を使用しています。通信範囲は条件によって異なります。下記表を参考にするか、通信エリアの確認機能(⇒P15)を使用し、通信圏内か確認の上ご使用ください。

通信範囲の目安(当社測定値)	
市街地	150m～300m
郊外	300m～600m

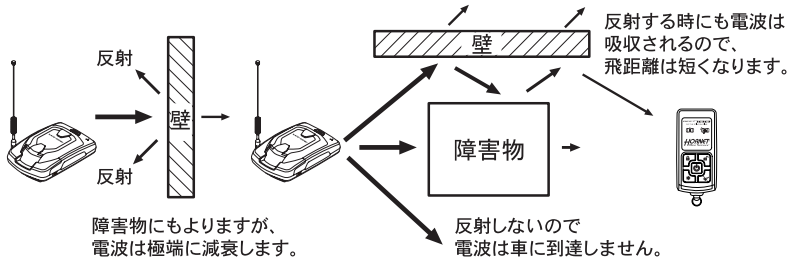
※ 通信範囲の目安は一般的な電波環境での目安であり、通信範囲をお約束するものではありません。地下や屋内等では電波が届かないため、上記目安より短くなります。



ヒント

電波特性について

- ・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。(電波が障害物によって反射するため)
- ・電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。

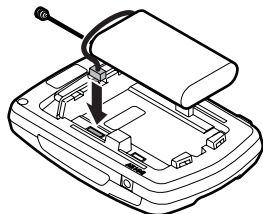


ご使用の前に

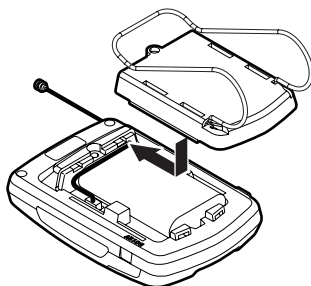
メインユニットに専用バッテリーを取り付ける

本製品を使用する前に、専用バッテリーをメインユニットに取り付けてください。

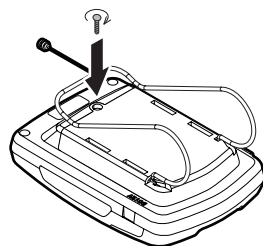
- 1) メインユニットにバッテリーコネクターを接続し、ケース内にバッテリーコードを挟まないようにバッテリーを入れます。



- 2) バッテリーカバーをスライドさせケースに取り付けます。



- 3) バッテリーカバーを付属のネジ（2×6）で締めてください。



⚠ 注意

- コネクターには極性がありますのでコネクターの凹凸に合わせてください。
- 専用バッテリーは消耗品です。2時間以上充電をしてもローバッテリーになる場合や充電ができなくなった場合は新しい専用バッテリーと交換してください。
- 専用バッテリーの購入に関しましては、当社製品取扱店にてご注文ください。
- 本製品は専用バッテリーを使用しています。安全のため専用バッテリー以外は使用しないでください。

ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

本製品は、お買い上げ時にはテスト用の充電しかされていませんので、使用前には必ず充電を行ってください。

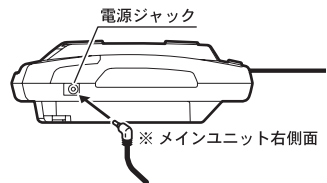
初めてご使用になる時や、内蔵バッテリーが消耗した時は、必ず付属のシガープラグコードを使用し、エンジンをかけて2時間以上充電してください。1時間の充電でも使用できますが、満充電にはなりません。(充電は断続的に行うことも可能ですが、その場合は目安として6時間以上充電してください)

⚠ 注意

充電中はすべての操作が行えません。

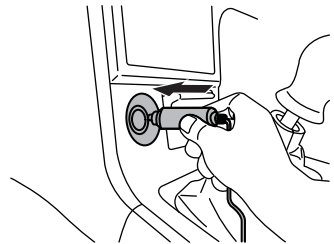
メインユニットを充電する

- 1) メインユニットの電源ジャックに付属のシガープラグコードを差し込みます。



- 2) 車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差し込みます。

※シガープラグコードを差し込む際、一度差し込んだ後に、左右に少し回すことで確実に差し込むことができます。



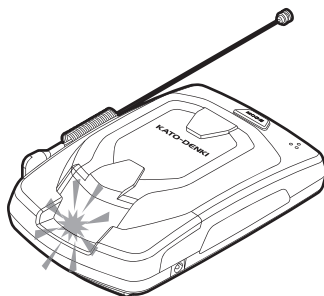
- 3) 車両のエンジンを始動した状態で充電を行ってください。



ご使用の前に

4) メインユニットの充電が開始されると、中央の威嚇 LED が30秒間点灯します。

※ LED が点灯しない場合、【故障かな?と思ったら】(⇒P31) の『メインユニットの充電ができない』をご確認ください。

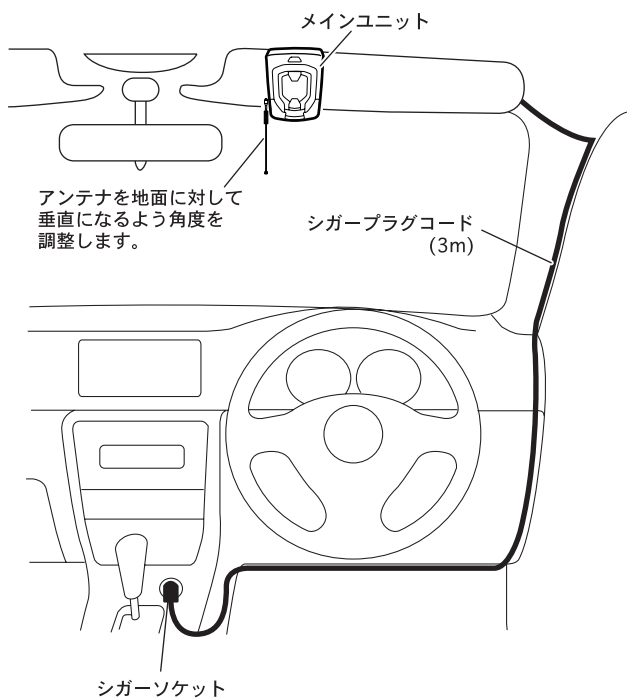


ヒント

- 警戒状態を長期間保つために、走行中に充電（常時シガープラグコードを接続）する事をおすすめします。
- 充電中の威嚇 LED は設定により、常時点灯・30秒間点灯に切替えることができます。
【初期設定：30秒間点灯】（⇒P27）
- 本製品を満充電した時の連続待機時間（※）は約7日間です。
- ※ 無警報での監視状態の継続時間。
- 内蔵バッテリーの状態を確認する場合は P25 を参照ください。

取り付け

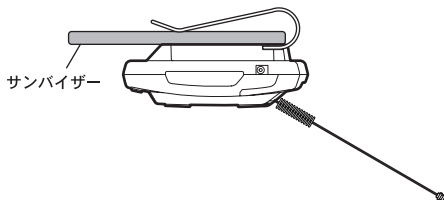
取り付け概要図（参考例）



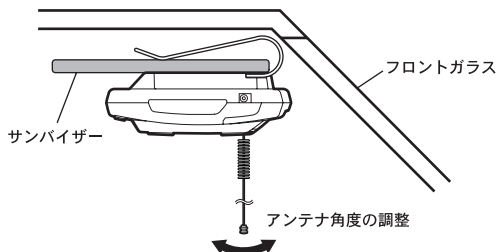
取り付け

メインユニットを取り付ける

1) サンバイザーにメインユニットを取り付け固定します。



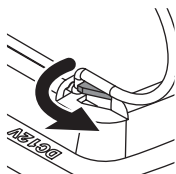
2) アンテナが垂直になるように角度を調整してください。



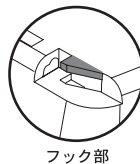
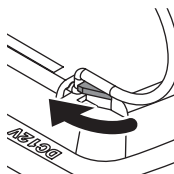
⚠ 注意

- ・車両のサンバイザーの形状によっては、サンバイザーステーが奥まで入らない場合があります。
- ・サンバイザーステーを無理に押し込まないでください。車両のサンバイザーを傷つける恐れがあります。
- ・アンテナは垂直になるように調整してください。アンテナを垂直に立てていないと、電波到達距離が短くなります。
- ・アンテナの調整をする際は必ずアンテナの根元を持って調整を行ってください。アンテナの先端を持って行くと、アンテナが曲ってしまう恐れがあります。
- ・本製品をダッシュボード上等に取り付けしないでください。センサーが正常に作動しない場合があります。
- ・サンバイザーステーの取り外し・取り付けを行う場合は、無理に引抜いたり、押込んだりしないでください。メインユニットのサンバイザーステー固定用フックが破損する恐れがあります。

◇取り外し



◇取り付け

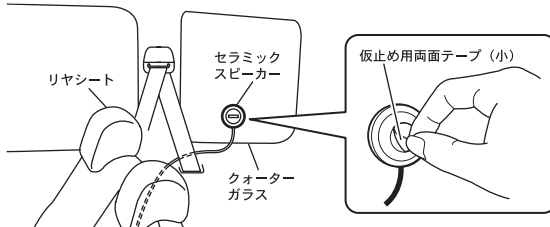


サンバイザーステーはフック部を回避するように取り外し、取り付けを行ってください。

セラミックスピーカー(別売オプション:517S)を取り付ける

別売オプションのセラミックスピーカーを窓ガラスやボディに取り付けることでセラミックスピーカーが取り付け面を共振させて車外へ警報音を響かせるようにします。

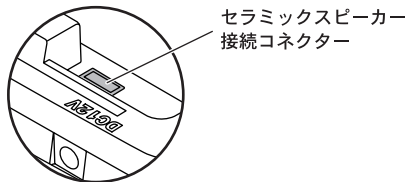
- 1) セラミックスピーカーを貼る場所の汚れを拭き取ってください
- 2) セラミックスピーカーに付属の**仮止め用両面テープ(小)**を貼り、ガラスまたはボディにセラミックスピーカーを取り付けてください。



- 3) 警報音を鳴らしてみ、車外へ警報音が響くか確認してください。
- 4) セラミックスピーカーの**仮止め用両面テープ(小)**を剥がし、そこに**固定用両面テープ(大)**を貼り、仮止めで確認した位置にスピーカーを取り付けてください。



- 5) BEE700バッテリーカバー内のコネクタにセラミックスピーカーを接続してください。



⚠ 注意

- セラミックスピーカーのコードは約3mです。コードが届く範囲内で取り付けを行ってください。
- 運転席より前方のガラス(フロントガラス等)には絶対に取り付けけないでください。
- 取り外す際は必ずコネクタ部を持って外してください。

セラミックスピーカーの取り外しについて

セラミックスピーカーの取り外し方、注意点に関してはセラミックスピーカー付属の取扱説明書を参照してください。

基本操作

ヒント

リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させるためにリモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。



リモコンの電源を入れる

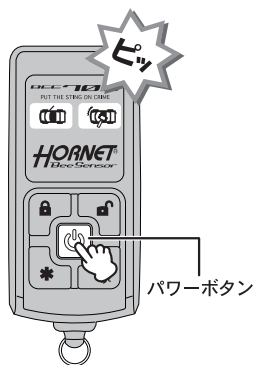
お買い上げ時やリモコンのボタン電池を交換後は、リモコンの電源は OFF になっています。ご使用する際は必ず電源を ON にしてください。

1) パワーボタンを 2 秒間押す

- ・リモコンから「ピッ」と音がします。
- ・全リモコン表示が約 1 秒間点灯し、電源 ON になります。

ヒント

リモコンの電源が ON になっていないと、警戒モードの設定・解除の操作や、警報時にリモコンへの異常通知が受信できません。



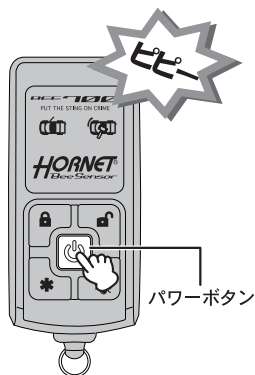
リモコンの電源を切る

1) パワーボタンを 2 秒間押す

- ・リモコンから「ピピー」と音がします。
- ・リモコンの電源が OFF になります。

ヒント

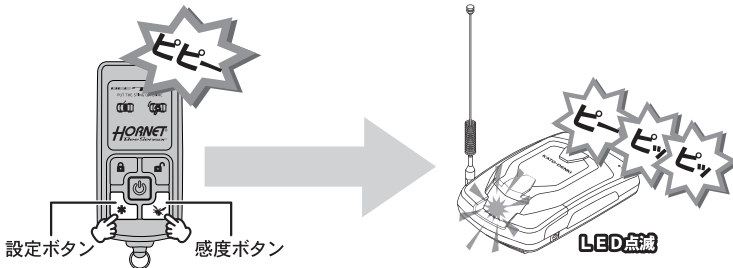
リモコンを長期間使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。



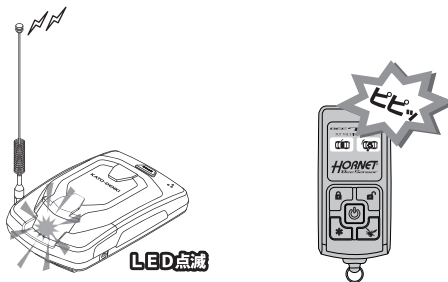
リモコンの通信エリアを確認する

リモコンで通報（アンサーバックのみ）を受信できるエリアを確認することができます。ご自宅と駐車場が離れている場合など、リモコンで通信エリアの確認信号を受信できることを確認のうえご使用ください。

- 警戒解除中に設定ボタンと感度ボタンを同時に 5 秒間押します。
 - ・リモコンから「ピー」と音がします。
 - ・メインユニットから「ピーピッピッ」と音がします。
 - ・メインユニットの中央の威嚇 LED が点滅します。
 - ・メインユニットから通信エリアの確認信号が約 10 分間定期的に送信されます。



- 通信エリア内にいるとリモコンからアラーム音が約 5 秒ごとに「ピピッ ピピッ」と鳴り、LED 表示部が点滅します。
 - ・通信エリア圏外にいると確認信号を受信できないため、リモコンからアラーム音は鳴らず、LED 表示部が早い点滅に変わります。



- 約 10 分間定期的に確認信号を送信後確認機能は終了します(警戒モードには移行しません)。

通信エリアの確認を終了する

通信エリアの確認を終了するには、キーを ACC ポジションまで回す（シガーブラグコード接続時のみ）か、リモコンのセット、リセット操作にてメインユニットを作動させることにより終了できます。

基本操作

警戒モードを設定する

すべての窓を開けてエンジンを切り、降車してすべてのドアをしっかりと閉めてください。窓が開いていると空気圧の変化や衝撃を正しく検知できません。

※ 充電中は操作できません。

1) セットボタンを1秒間押す

- ・「ピッ」とボタン操作音がします。
- ・メインユニットから設定した音色(⇒P29)でクリック音が鳴ります。
- ・威嚇LEDが全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約10秒間)
- ・威嚇LEDの点滅パターンが切り替わり警戒モードとなります。



※設定により音色は異なります。
(⇒P29)

ヒント

- ・リモコン操作後、「ブザー」と音がすると通信エラーです。電気ノイズや周辺の状況によっては操作ができないことがあります。リモコンの通信範囲(半径約5~10m以内)および通信の妨げとなる遮蔽物がないか確認し、再度リモコン操作してください。
- ・キャンセルタイマー中は、威嚇LEDが約10秒間全点滅します。このとき、各種センサーは異常を検知しません。
- ・キャンセルタイマー中に再度リモコンのセットボタンを1秒押すと、10秒間待たずに警戒モードに移行します。
- ・本製品のリモコンと同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、リモコンから「ブザー」と音が鳴り、電波の送信が行えません。
- ・リモコン操作後、約2秒間は次の操作ができません。
- ・メインユニットの内蔵バッテリーが低下していきますと、セキュリティセット/リセット時のクリック音が「ブッ」/「ブッブッ」という音が鳴ります。
「ブッ」/「ブッブッ」という音が鳴り出したらメインユニットの充電を行ってください。

注意

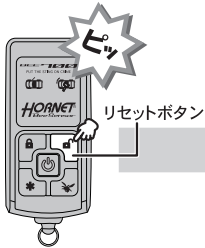
ターボタイマー装備車は、ターボタイマー作動中にセキュリティの警戒モードに設定することはできません。パッシブ機能(⇒P21~22)を使用するか、ターボタイマー終了後、リモコンの操作にて警戒モードの設定を行ってください。

※シガープラグコード接続時のみ

警戒モードを解除する

1) リセットボタンを1秒間押す

- ・「ピッ」とボタン操作音がします。
- ・メインユニットから設定した音色(⇒P29)でクリック音が鳴ります。
- ・威嚇LEDが消灯します。



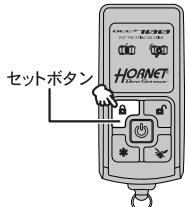
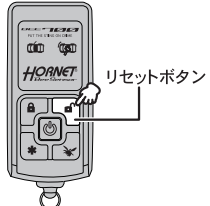

※設定により音色は異なります。
(⇒P29)

基本操作

異常通知／警報動作を停止する

警報を停止する場合、セットボタンまたはリセットボタンを1秒押すか、キーをACCポジション(※)にしてください。

※ シガープラグコード接続時のみ。

操作内容	リモコン操作音	状態
	ピッ	警報動作が停止し、警戒モードに移行します。
	ピッ	警報動作が停止し、警戒モードが解除されます。
	—	

ヒント

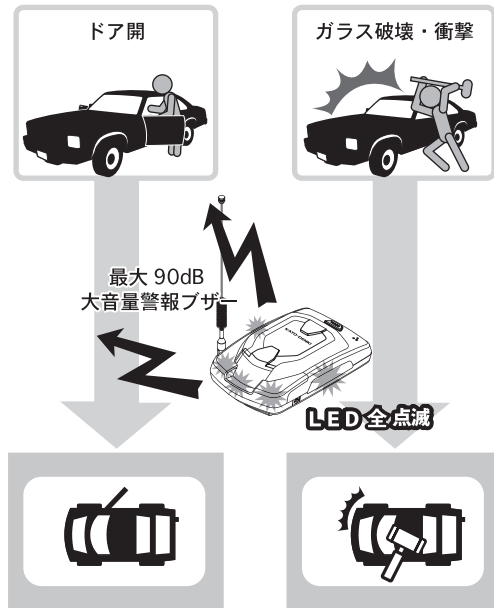
車両から離れている場合など、通信エリア圏外でメインユニットと通信できないときにリモコンによる停止操作を行うと、リモコンのアンサーバック（警報アラームとLED表示）のみ停止します。

※通信エリア圏外のため、メインユニットのサイレンは停止しません。

検知・警報動作とリモコン表示

警戒モード中に窓ガラス破壊・車体への衝撃やドア開を検知したときには、警報動作（威嚇 LED が短い間隔で全点滅し、サイレンは最大 90dB で鳴動）を発し、リモコンへアラーム通知します。警報動作は約 30秒後に停止しますが、警戒モードは継続していますので、再度異常を検知すると警報動作します。

※ただし、リモコンが通信エリア圏外の場合は、アラーム通知はされません。



リモコンは異常通知を受信すると各異常別のリモコン表示の点滅、および「ピーピー・・・」と音で約 30秒間お知らせします。

30 秒間に別の異常通知を受信すると該当するリモコン表示の点滅に切り替わり、再度約 30 秒間、リモコンの音と合わせてお知らせします。

約 30秒後にリモコンの音は停止し、リモコン表示は消灯しますが、警戒モードは継続していますので再度異常通知を受信するとリモコン表示と音でお知らせします。

警報動作の詳細については P20を参照してください。

基本操作

警報動作について

警戒モード設定中に衝撃を検知した時やドアが開いた時に、下記表の動作や表示を行います。警告、警報後は警戒モードに戻り、再度異常を検知すると警告、警報を行います。

	振動センサー		空気圧センサー
	弱い衝撃（警告）	強い衝撃（警報）	ドア開（警報）
メインユニット サイレン	「ピロピロピロ」が2回鳴ります。	「ピロピロピロ…」が約30秒間鳴ります。	設定した音色（⇒P29）でサイレンが約30秒間鳴ります。
メインユニット 威嚇LED	早い全点滅を約2秒間します	早い全点滅を約30秒間します。	
リモコン	「ピーピーピー」が1回鳴り、衝撃表示が3回点滅します。	「ピー ピー…」が約30秒間鳴り、衝撃表示が約30秒間点滅します。	「ピー ピー…」が約30秒間鳴り、ドア開表示が約30秒間点滅します。



振動センサーの感度は変更することができます。（⇒P23）

※ 空気圧センサーの感度を変更することはできません。

応用操作

警戒パターンの設定を切替える

【初期設定：警戒パターン③】

本製品は警戒パターンの設定を切替えることにより、パッシブ機能のON/OFFの切り替え(⇒P22)と、メインユニットサイレン音のON/OFFの切り替え(⇒P22)を行うことができます。

※ 警戒モード設定中および充電中は変更できません。

設定方法

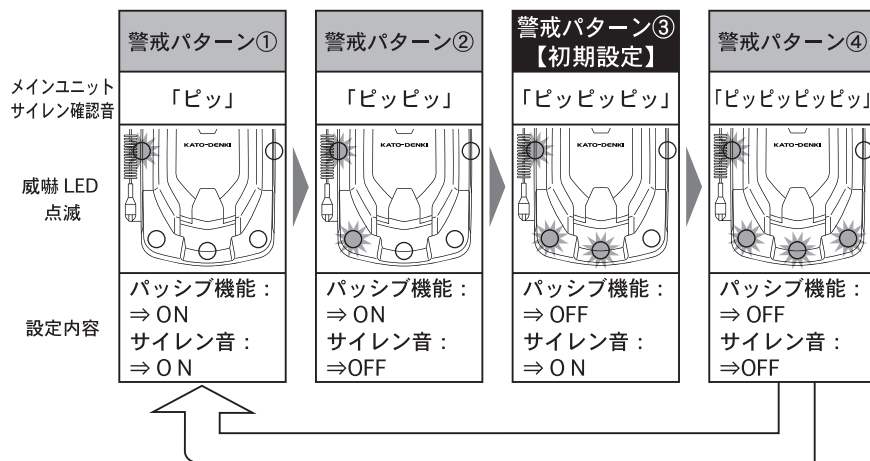
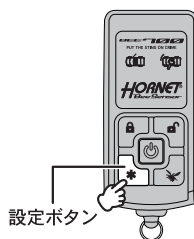
警戒モード解除中、リモコンの設定ボタンを5秒間長押しするごとに警戒パターン①～④に設定変更することができます。

※ 警戒パターンは設定を変更しない限り、設定したパターンで動作します。

※ どの警戒パターンに設定していても警報時にはリモコンへの異常通知を行います。

※ 警戒モード設定中や充電中は設定を変更することはできません。

※ 警戒モード設定・解除時の確認音をOFFすることはできません。

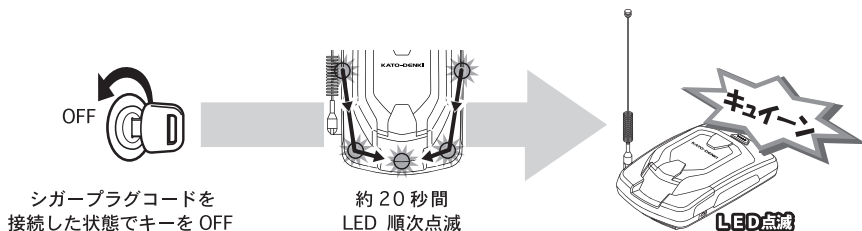


応用操作

自動で警戒モードに設定する（パッシブ機能）

本製品はリモコン操作による警戒モードの設定以外に、自動的に警戒モードの設定を行う、パッシブ機能を搭載しています。

- 1) シガープラグコード接続時にキーを OFF にします。
 - ・メインユニット威嚇 LED が約 20 秒間順次点滅します。
 - ・メインユニットサイレンから「キューーン」と音がします。
 - ・威嚇LEDが全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約 10 秒間)
 - ・威嚇LEDの点滅パターンが切替わり警戒モードとなります。



ヒント

エンジンを停止してもシガーソケットの電圧が0Vにならない車は、シガープラグコードを抜いた時点で警戒モードに自動で設定されます。

メインユニットサイレン音の ON/OFF を切替える

サイレン音 OFF 設定時、異常を検知した場合でもメインユニットからのサイレンおよび当社別売オプションのセラミックスピーカーを鳴らさずに、リモコンへの通知と威嚇 LED による警報のみに変更することができます。

衝撃センサーの感度を変更する

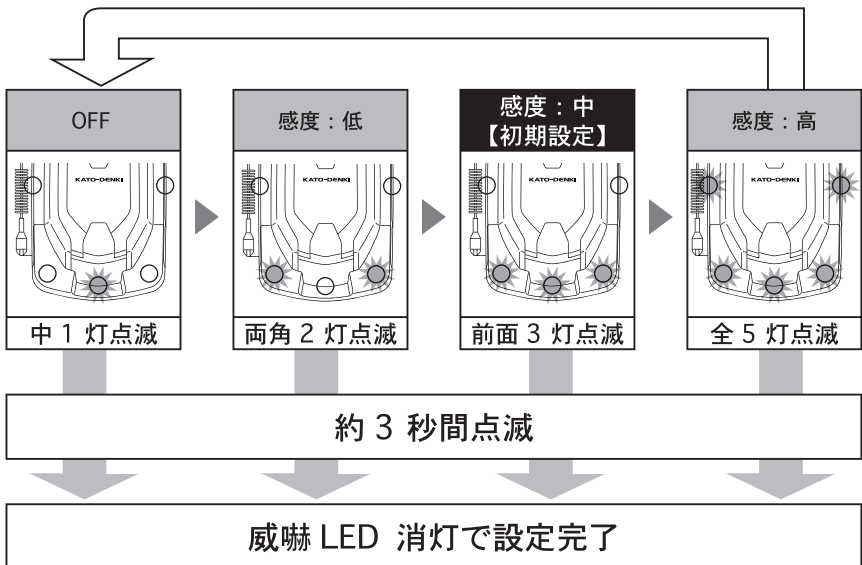
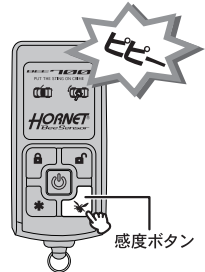
【初期設定：感度中】

リモコン操作により、衝撃センサーの感度を4段階に調節することができます。

※ 警戒モード設定中および充電中は変更できません。

- 1) 警戒モード解除中にリモコンの感度ボタンを5秒間長押しします。

- ・「ピーピー」とボタン操作音がします。
- ・メインユニット威嚇LEDが設定に応じて約3秒間点滅し、消灯後に設定が完了します。



📖 ヒント

- ・強い衝撃と弱い衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)
- ・駐車場周辺の環境や車両に合わせて衝撃感度の設定を行ってください。

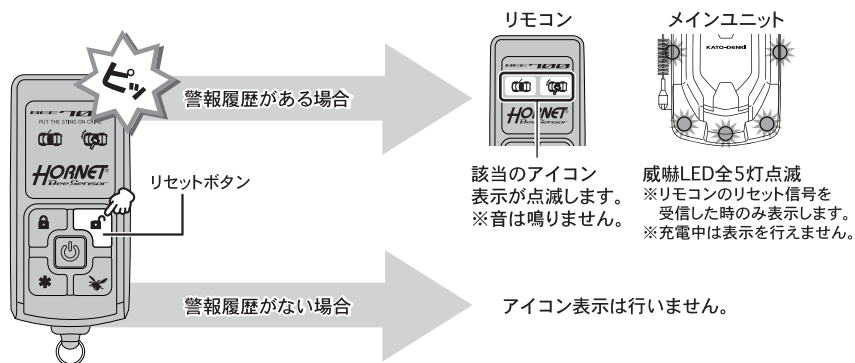
応用操作

ダイアグノスティック機能

本製品は最終の警報（強い衝撃とドア開）を履歴としてメインユニットとリモコンに記憶します。リモコン操作により、最後に発報した警報内容（強い衝撃とドア開）を確認することができます。

- 1) リモコンのリセットボタンを1秒間押します。
- 2) リモコンに最終警報履歴がある場合は該当のアイコン表示が点滅し、メインユニットの威嚇LEDは全点滅を1回します。
履歴がない場合は反応しません。

※メインユニットはリモコンからのリセット信号を受信した場合のみ履歴を表示します。



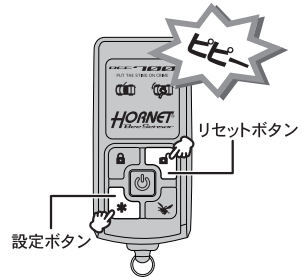
ヒント

- ・リモコンのセットボタンを押す、またはリモコンの電池を取り外す（電池が切れる）と履歴はクリアされます。それ以外の操作を行っても履歴は残ります。
- ・リモコンとメインユニットは警報を行った時点で履歴として記憶するため、リモコンの通信エリア圏外でメインユニットのみ警報を行った場合、メインユニットのみ履歴を表示します。（メインユニット側では、強い衝撃、ドア開け、どちらの警報かは分かりません。）
- ・メインユニットの履歴は、リモコンからのセット信号を受信した時点でクリアされます。

内蔵バッテリーの状態をチェックする

警戒モード解除中に、リモコンのリセットボタンと設定ボタンを同時に5秒間長押しすると、メインユニットの内蔵バッテリーの残量が3秒間LEDで表示されます。

※ 警戒モード設定中、充電中および通信エリアの確認中は、内蔵バッテリーの状態をチェックすることはできません。



LED 表示	内蔵バッテリー残量	内蔵バッテリーの状態
	バッテリー残量 80%以上	充電良好です。
	バッテリー残量 80%未満	
	バッテリー残量 60%未満	充電をお勧めします。
	バッテリー残量 40%未満	充電してください。
	バッテリー残量 20%未満	

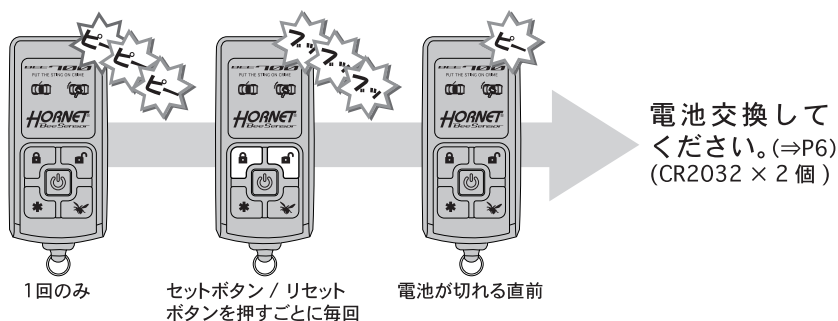
応用操作

リモコン電池の低下通知機能

リモコン電池の残量が約30%になると「ピーピーピー」という音で電池残量低下を1回のみお知らせします。

その後、セットボタンまたはリセットボタンを押すごとに、「ブツブツ」という音でお知らせします。

電池が切れる直前には「ピー」という連続音でお知らせをします。すみやかに電池交換をしてください。



緊急時の警報音停止方法 ※シガープラグコード接続時のみ

リモコンの紛失や電池切れなどの各種トラブルにより手動でサイレンを停止させる場合は、以下の方法を行ってください。

- 1) キーを ACC ポジションにすることで解除できます



ヒント

キーを ACC ポジションにして停止した場合は、警戒モードが解除されます。ただし、警報パターンの設定 (⇒P21) にてパッシブ機能を ON に設定している場合、キーを OFF にすると再度警戒モードに自動で設定されます。

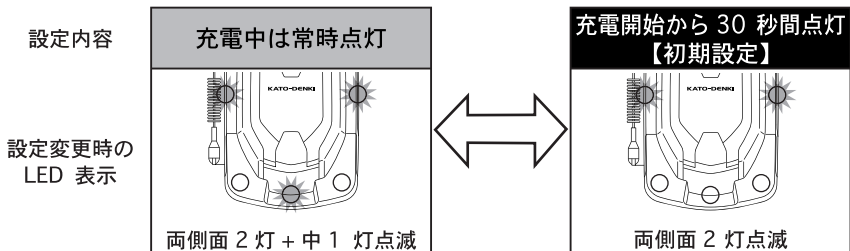
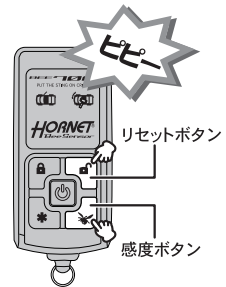
メインユニット充電中の LED 点灯表示を変更する

【初期設定：30秒間点灯】

メインユニットは充電中、威嚇 LED（中 1 灯）が点灯します。その威嚇 LED 表示をリモコン操作により、『常時点灯』 / 『30 秒間点灯』から選択することができます。

※ 警戒モード設定中および充電中は変更できません。

- 警戒モード解除中にリモコンのリセットボタンと感度ボタンを同時に 5 秒間長押しします。
 - ・「ピーー」とボタン操作音がします。



ヒント

- ・『常時点灯』設定時、内蔵バッテリーが満充電となっても威嚇 LED は消灯しません。内蔵バッテリーの状態は P25 を参照し、確認を行ってください。

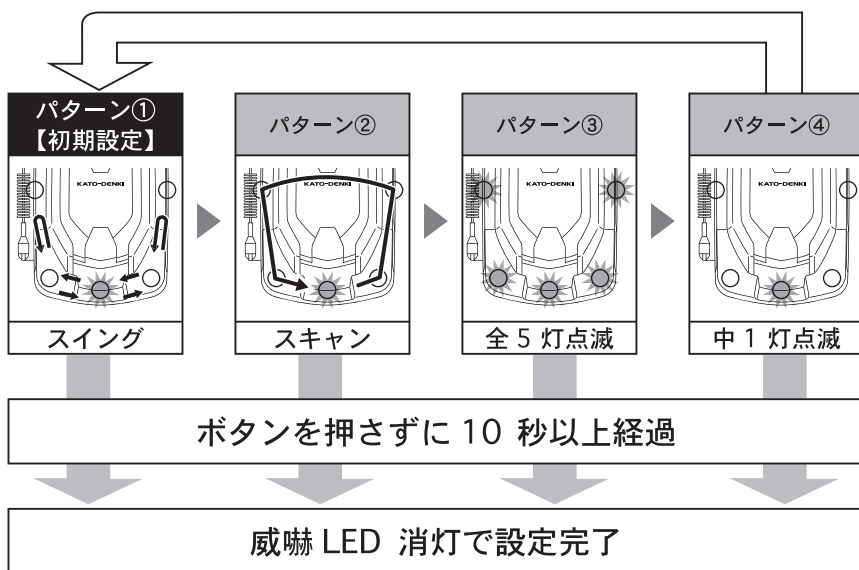
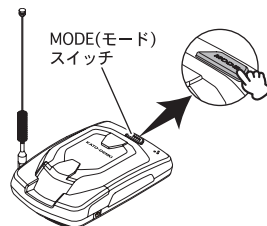
応用操作

威嚇 LED の点滅パターンを変更する

【初期設定：パターン①】

警戒モード解除中に、メインユニットのMODE（モード）スイッチを短押し（3 秒未満）することで威嚇 LED の点滅パターンを 4 パターンの中から選択することができます。

※ 警戒モード設定中および充電中は変更できません。



⚠ 注意

点滅パターン変更中は警戒モードに設定することはできません。

サイレン音の音色を変更する

【初期設定：パターン①】

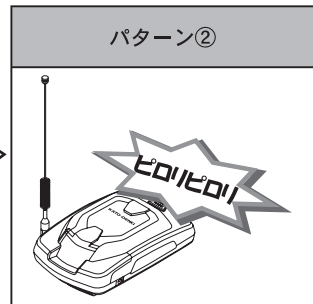
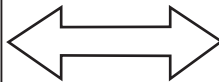
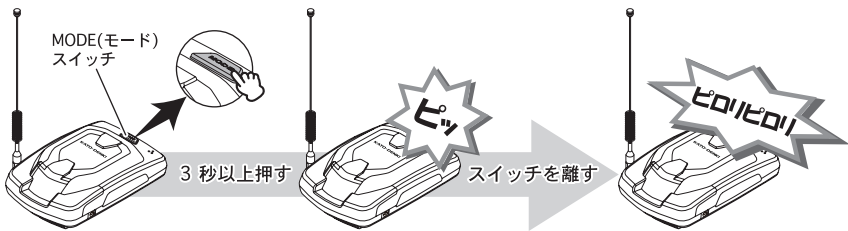
本製品のセット、リセット時のクリック音およびドア開放時の警報音を2パターンから選択することができます。

※ 衝撃時の警報音を変更することはできません。

※ 警戒モード設定中および充電中は変更できません。

設定方法

- 警戒モード解除中にメインユニットのMODE(モード)スイッチを3秒以上押す。
 - ・メインユニットから「ピッ」と音が鳴ったらMODE(モード)スイッチを離します。
 - ・変更されたサイレン音が鳴ります。



※ クリック音と警報音を別々に設定することはできません。

付録

こんなときは？

パッシブ機能について (⇒P22)

Q. エンジンスターターと併用したい。

A. エンジンスターターと併用する場合、パッシブ機能をONにして使用してください。警戒モード設定中にエンジンがかかる(ACCがONになる)ことで警戒モードが解除され、アイドリングが終了すると、パッシブ機能により、再度警戒モードに設定されます。

※ エンジンスターターによるエンジン始動中は、警戒モードが解除され、セキュリティ性が下がりますので、おすすめてできません。

Q. 一部エンジンスターターでエンジン始動してもACCがONにならない場合は？

A. ACCがONにならないとセキュリティは解除されないため、車に乗り込む前に必ずリモコンにてセキュリティを解除してください。

※ エンジン始動による振動で本製品が弱い衝撃を検知することがあります。

Q. ターボタイマー装着車に取り付けると？

A. パッシブ機能をONにしていると、ターボタイマー終了後に自動で警戒モードに設定されます。

※ ターボタイマー作動中は警戒モードに設定できませんのでご注意ください。
(シガープラグコード接続時のみ)

Q. パッシブ機能を一時的(荷物の積み下ろしやガソリンの給油中等)に使用したくない場合は？

A. キーをOFF後、リモコンで警戒モード解除操作(🔒ボタンを1秒間押す)を行うことで警戒モードに設定されません。

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
メインユニットの充電ができない	・メインユニット専用バッテリーのコネクタが抜けかかっていませんか？	・メインユニット専用バッテリーのコネクタを確実に接続してください。	P8
	・シガープラグコードのヒューズ(1A)が切れていませんか？	・ヒューズを交換してください。	—
	・車両シガーソケットから12Vが出力されていますか？	・キーをACCもしくはイグニッションにしてください。	P9,10
リモコンの電源が入らない	・絶縁シートが挟まっていますか？	・絶縁シートを抜いてから使用してください。	P4
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。	P6
リモコンの操作ができない	・リモコンの電源はONになっていますか？	・リモコンの電源をONにしてください。	P14
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。	P6
警戒モードに設定できない。	・リモコンを手等で包み込んでいませんか？	・リモコンを正しく持って操作してください。	P14
	・リモコンの操作範囲内にありますか？	・リモコンの操作範囲は半径約5～10m以内です。	P7
	・メインユニット専用バッテリーのコネクタが抜けかかっていますか？	・メインユニット専用バッテリーのコネクタを確実に接続してください。	P8
	・メインユニットが充電中ではありませんか？	・充電中は警戒モードに設定できません。キーをOFFにして設定してください。	P9
	・メインユニット威嚇LEDの点滅パターンを変更中ではありませんか？	・点滅パターン変更中は警戒モードに設定できません。変更を終えてから設定してください。	P28
	・メインユニット専用バッテリーの電池容量が低下していませんか？	・メインユニット専用バッテリーを充電してください。	P9,10
サイレン音が鳴らない	・サイレン音の設定がOFFになっていませんか？	・警戒パターンの設定を変更してください。	P21,22
メインユニットからの警報通知をリモコンへ受信できない	・メインユニットとリモコンの間に遮蔽物はありませんか？	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。	P7
	・周囲に電波を出すものがありますか？	・周囲の電波状況によっては電波が干渉してしまい、届かない場合があります。	—
	・通信エリア圏外ではありませんか？	・通信エリアの確認を行い、使用される場所が通信エリア内か確認してください。	P15

付録

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンのセット・リセットを押すと「ブッブッ」と音が鳴る	・リモコンの電池容量が低下しています。	・電池を交換してください。	P6

お買い上げ時の設定一覧

設定項目	設定内容	参照ページ
警戒パターン	パターン③ パッシブ機能：OFF サイレン：ON	P21
衝撃センサー感度	感度：中	P23
メインユニット充電中のLED点灯表示	充電中、LED 30秒間点灯	P27
威嚇LED点滅パターン	パターン① スイング点滅	P28
サイレン音の音色	パターン① キューイン	P29

アフターサービスについて

保証書

- ・保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- ・保証書に販売店名、購入年月日を証明するものが無いものは保証対象外とさせていただきます。

保証期間

ご購入日から1年間です。

対象部分：メインユニット・リモコン・シガープラグコード

- ※ 但し、付属品（メインユニット専用バッテリー・リモコン用ボタン電池）等の消耗品は除く。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」（⇒P31,32）を参照し点検をしていただいても、なお症状が改善されない時は販売店へご相談いただき故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

・保証期間内の場合

恐れ入りますが、取付販売店に保証書をそえて、製品をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

・保証期間が経過している場合

取付販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

- ・当社では製品の検査・修理の代品貸し出しは一切行っておりません。また修理を依頼される時の送料・取り付け・取り外しにかかる工賃の諸費用はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

- ・修理中の盗難、車上狙い、イタズラが発生しても一切の責任を負いかねます。

アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

リモコンを紛失または破損・水没

- ・リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせ、購入してください。

本書にしたがって、正常な取り付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取り付け接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

付録

製品仕様

メインユニット

技術基準	特定小電力無線
送信周波数	426MHz 帯
送信出力	1mW 以下
警報音圧	最大 90dB
動作温度範囲	- 20℃～+ 80℃
電源電圧	12V 車専用
消費電流	急速充電時：360mA 以下 トリクル充電時：80mA 以下 警戒時：平均 3.8mA 警報時：最大 430mA
ケース寸法	約63 (W) ×96.5 (H) ×32.5 (D) mm (アンテナ除く)
重量	約120g (電池含む)

リモコン

技術基準	微弱電波
送信周波数	315MHz 帯
動作温度範囲	- 10℃～+ 60℃
使用電池	リチウム電池 CR2032 × 2
ケース寸法	約31 (W) ×65 (H) ×14.5 (D) mm
重量	約28.5g (電池含む)

※ 本製品の外観および仕様は、性能向上のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

お問い合わせ先

KATO-DENKI

加藤電機株式会社 お客様サポートセンター

TEL 0569-26-0088 FAX 0569-26-0089

URL : <http://www.kato-denki.com>

営業時間：月～金 10：00～17：00 (祝日、年末年始等は除く)

※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますので、あらかじめご準備ください。

メモ

保証規定

保証期間：ご購入日より1年間

対象部分：メインユニット、リモコン、シガープラグコード
(メインユニット専用バッテリー、リモコン用ボタン電池を除く)

- 1：本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書の注意に従った使用状態で万一故障が発生した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2：本製品は持ち込み修理品となりますので、保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口へ直接製品をお送りいただく際に発生する送料はお客様のご負担となります。その際には、保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外（有償）となります。
なお、修理のために取りはずした不具合品は、加藤電機株式会社の所有となります。
- 3：製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換費等はお客様負担となります。
- 4：ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には当社修理窓口まで製品をお送りください。
- 5：保証期間内でも次の場合には保証対象外（有償）となります。
 - ・使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - ・不当な修理、改造による故障および損傷
 - ・お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分・油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
 - ・火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
 - ・自動車事故により発生した故障および損傷
 - ・消耗品（電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど）の交換
 - ・リモコンの増設の場合
 - ・本保証書のご提示がない場合
 - ・本保証書に購入年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明あるいは文字を書き換えられた場合
 - ・故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
 - ・シガープラグコードを改造された場合
- 6：保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。

発売元 **KATO-DENKI** 加藤電機株式会社
〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

故障・修理内容詳細記入欄

1. 取り付け状況

車種 []

年式 []

型式 []

その他オプション品番

[]

2. 使用状況

①使用期間 [約 年 ヶ月]

②症状（発生頻度等、できるだけ具体的に記入してください。）

[]

3. その他気になった点がございましたらご記入ください。

[]